

## 第37回富山県入札監視委員会の審議の概要

開催日及び場所	令和4年1月28日（金） 県庁4階大会議室		
委員  (委員数：5) (出席数：5)	委員長	中出孝典	(富山大学名誉教授)
	委員	伊藤始	(富山県立大学工学部教授)
	委員	大石貴之	(弁護士)
	委員	佐藤綾子	(富山国際大学現代社会学部教授)
	委員	前田陽子	(税理士)
次 第	1 開会 2 入札・契約手続の運用状況の報告 ① 富山県の入札・契約制度について ② 令和3年度上半期の入札・契約方式別発注工事の状況について ③ 令和3年度上半期の一位不動入札及び落札率100%入札について 令和3年度上半期の一者入札、入札方式別落札率及び総合評価方式の試行結果について ④ 令和3年度上半期の低入札価格調査制度対象工事の状況、最低制限価格制度対象工事の状況及び指名停止の運用状況等について 3 審議工事の抽出結果の報告 4 抽出事案の審議 5 審議結果の報告 6 閉会		
審議対象期間	令和3年度上半期（同時期に請負契約を締結した工事）		
抽出事案	10件（審議対象工事総件数：1,036件）		
一般競争入札	3億円以上	1件	(事案1) 大長谷第二発電所及び仁歩発電所大規模改良(リプレース)
	1億円以上	1件	(事案2) 富山県栽培漁業センター新クロダイ棟新築給排水衛生設備その他
	2千万円以上	3件	(事案3) 子撫川ダム河川総合交付金電源電気設備更新 (事案4) 一般国道472号道路橋りょう改築(土砂災害)落石防護柵工 (事案5) 県営農村地域防災減災事業 美濃輪池地区 美濃輪池堤体改修
指名競争入札	4件	(事案6) 一般県道岡笹川線県単独道路改良(フレッシュアップ)カラー舗装 (事案7) 一般国道359号外県単独道路維持修繕道路監視カメラ設置豊町外工区 (事案8) 主要地方道黒部朝日公園線県単独雪寒対策施設消雪配管第1工区 (事案9) ため池整備 小竹ため池地区 小竹ため池堤体改修その3	
随意契約	1件	(事案10) 一般県道刈安楽寺線道路災害応急対策大型土のう工その3	
委員からの意見及び質問並びに当該質問に対する回答	意見・質問	回 答	
	別紙のとおり	別紙のとおり	
委員会としての意見	令和3年度上半期における建設工事に係る入札・契約については、概ね適正に行われている。		

別 紙

意見・質問	回 答
<p>○令和4年1月に富山市での官製談合事案を受けた指名停止があったところだが、県では官製談合未然防止のためにどのような取組みをしているのか。</p>	<p>平成30年度以降、県内自治体で官製談合事案が複数発生していることから、県では令和元年度から毎年職員研修の機会を捉えて、公正取引委員会の職員を講師とした研修を開催し、職員の法令遵守意識向上を図っている。</p>
<p>○事案1の工事について、入札参加資格において水車発電機メーカーの参画を求めているが、どのように確認し、参画の確約を取っているのか。</p>	<p>入札参加者から提出される参加申請書類に納入を行う水車発電機メーカー名を明記させた上で、当該メーカーからも参画意向がある旨を記載した書面の提出を受けている。</p>
<p>○事案2の工事について、入札参加者が1JVのみであるが、栽培漁業センターという対象施設の特性から見て難易度が高いためと考えられるか。</p>	<p>本事案の難易度が特段高いということはなく、あくまで各企業が手持ち工事の状況や現場の地理的条件を考慮した結果、入札参加者が1JVになったものと考えている。</p>
<p>○事案3の工事について、入札参加者のうち、入札が「無効」となっている者が2者あるが、どのような理由によるものか。</p>	<p>「無効」となった2者はいずれも入札金額が県の設定した調査基準価格を下回っていた。このため、施工体制確認調査に係る追加資料提出を求めたところ、2者とも提出しない旨の申し出があったことから、(入札心得第6条の規定に従い)入札を「無効」とした。</p>
<p>○事案9の工事について、変更契約内容である転落防止柵等の設置は、発注当初には想定されていなかったのか。</p>	<p>発注当初は、ため池への用水の貯留を早期開始するため布製型枠工のみを行い、その後に別発注する付随工事の中で転落防止柵等を設置する予定であった。しかし、当初契約後の地元からの早期設置要望を受け、本工事の中で設置することとした。</p>
<p>○事案10の工事については、地すべりの二次被害が懸念されたことから、早急な対策のため随意契約を行ったとのことだが、工事場所で再度地すべりの挙動が確認された契機は何か。</p>	<p>令和2年7月に最初の地すべりの挙動が確認された際、大型土嚢の設置に加え、挙動を把握するため法面に伸縮計を設置した。その後の降雨により、令和3年5月21日から23日にかけて合計4.4mmの動きが伸縮計に確認されたため、現地を確認し梅雨前の早急な対策が必要と判断した。</p>